

訪問日　2026年11月 5日（木）14：00～15：30
訪問先　アザレアコート こうほうえん（サービス付き高齢者向け住宅）
　　デイサービスセンター アザレアコート　米子市両三柳１４００
出席者　【委　員】　田平 敏雄、福谷 武彦、名越 光義、三島 峰子
【よなごエリア】　安達 淳　（アザレアコートこうほうえん 施設長 兼 法人本部経営企画部課長）
　　本池 絵里子（アザレアコートこうほうえん 相談員・係長）
　　上田 紀行　（アザレアコートこうほうえん　主任介護士）
　　福田 亮太　（デイサービスセンターアザレ
【法人本部】　荒井 祐二　（ 監 事 ）

YONAGO Area Report

■施設概要と現況・課題　Azalea Court

荒井監事：２００５年４月に開設した「**アザレアコートこうほうえん**」と「**デイサービスセンターアザレアコート**を見学していただきます。安達施設長から施設全体の概要・現況・課題等の説明をお願いします。様々な取り組みが進められていますが、委員の皆さんには客観的な視点で提言をお願いします。

安達施設長：４階建てのアザレアコートは、サービス付き高齢者向け住宅、訪問介護（ホームヘルプ）、デイサービスセンター、レストラン、美容室、花屋などが入った複合施設です。**サービス付き高齢者向け住宅**は、全 102 室。60 歳以上なら介護認定の有無を問わず入居できます。40 室は、特定施設入居者生活介護（介護保険サービス）に対応した 24 時間介護付きの部屋。残り 62 室は、自立の方から入居できる部屋。自炊の方もいれば、衰えに応じてデイサービスや訪問介護を使いながら生活を組み立てる方もいます。**レストランアザレアコート**は、入居者の食事提供だけでなく、近隣住民もいつでも利用できます。小さな子どもから高齢者まで三世代が集い、交流できることをコンセプトとしています。今年の夏から「**アザレアギャラリー**」を開始し、地域で創作活動をする方の作品をレストランの壁面に無料で展示する場として提供しています。作品を通じて入居者と地域の方がつながる交流拠点とすることが狙いです。出展の問い合わせが多く、すでに**３月まで予定が埋まっています**。展示期間は１ヶ月程度で交代。作品目当てに来店する方も増えており、今後も続ける方針です。「アザレアのプリン」に加え、約２ヶ月単位で**季節限定プリン**を販売しています。これまでに伯太番茶と小豆のプリン、夏の杏仁豆腐とマンゴーのプリンを出し、現在はかぼちゃプリン。ハロウィン時期には２ 週間限定で紫芋のプリンも出しました。レストランで販売していますが、公民館まつりなどのイベント会場での**販路を拡大**したいと考えています。　①



本池係長：現在、特定施設４０室は満室で、一般型６２室は６室が空室となっています。開設して２０年が経過しましたので、身体の状態が悪化して特定に移る人や、県外から入居している人は、家族が住む地域の施設に転居するなど、転居理由も様々です。入居促進策ついては、見学者への案内、レストランと連携した入居者募集を行っています。また、従来の施設パンフレットに加え、ヘルパーステーション（訪問介護）、デイサービス、レストランを一緒に紹介する**小型パンフレット**を新たに作成し、各所に配布して募集しています。**定期ボランティア**は、 毎月のフラワーアレンジメント、入居者家族によるハンドマッサージ、演芸ボランティアなどの協力があります。先日、長寿を祝う集い（敬老会）を開催し、楽器演奏や歌や踊りを実施しました。今後も入居者が楽しめる活動を企画していきたいと考えています。

上田主任：こうほうえんでは、フランス人のイヴ氏が考案した、**優しさを届けるケアの技法「ユマニチュード」を**取り入れ、利用者支援に取り組んでいます。先日、考案者のイヴ氏が鳥取に来て講演を行い、職員が受講しました。基本の ４ つの柱は「見る」「触れる」「話す」「立つ」。いずれも技術を使った支援として実践しています。講義では「利用者の目を見ているか」が繰り返し指摘されました。ケア優先で顔を見ずに支援していないかを振り返っています。福祉の現場では車椅子での生活が日常になりがちで、支援する側が「立つ」ことを忘れてしまいます。立つケアを意識して取り入れています。特にアザレアでは利用者の思いや意思を聞いて尊重することを重視し、「利用者さんは何と言っていたか」を職員育成のポイントにしています。会議等で利用者の発言を共有することで変化が出ると期待しています。今後も取り組みを継続していきます。

三島委員：こうほうえんの広報誌**「お互いさま」**でユマニチュードの記事を読みました。とても大事なケア手法であり、法人全体に浸透させるには大変だと思いますが、**実践を積み重ねて**いただくようお願いします。





名越委員：入居者が１００人を超えており、対応するにはとても大変だと思います。どのような工夫がありますか。

本池係長：特定施設（介護付き）は、２０名ずつ２チームに分けて支援しています。介護度は要支援１～要介護５まで幅広く、介護が必要な方には多くの時間を使い、要支援 1 で自分で動ける方には見守る姿勢で対応しています。要介護 5 の人はリフトでの車椅子移乗、座位保持が難しい人向けの車椅子の使用など、生活全般に介護が必要です。

上田主任：ベッド下に**「眠りスキャン」**のセンサーを設置し、睡眠状態・心拍・呼吸のデータを取得しています。就寝中の利用者への不要な巡回が減り、体調悪化時にはデータが赤く表示されアラームで知らせるため、素早く対応できます。スマートフォンで議事録作成や記録を行うなど、ICT 化を進めています。

福田主任：**デイサービスセンターの現況**を説明します。定員: 34 名、登録人数: 約 90 名前後、男女比：女性 8・男性 2、平均介護度: 約 1.7（比較的軽度の方が中心）、年齢層: 最年少が 50 代、最年長が 102 歳、料金の目安: 食事代を含め 1 日約 1,500 円（他施設もほぼ同程度）。主 な利用目的は運動と入浴。浴槽は、機械浴（特殊浴槽）、大風呂、個人浴槽の 3 タイプがあり、身体機能に合わせて入浴していただきます。市内の**他法人の２事業所が 11 月末で休止**するため、９月末頃から新規利用者が多数申し込まれ、定員がほぼいっぱいになっています。隣接している**キッズタウンとの交流**を活発化しようと考え、交流会など日常的に触れ合う機会を増やす予定です。**外出企画**については、一度に大人数で出るのは難しいため、買い物ツアーか紅葉ドライブかを選んでもらい、小グループに分けて複数回実施しています。

田平委員：利用にあたっては、**無料体験**ができるようですが、どのような内容ですか。

福田主任：１回限りで、入浴や食事、運動など全て無料で体験できます。

名越委員：自費での利用者があるようですが、どういう人ですか。

福田主任：特定施設（介護付き）の入居者は制度上、外部の介護保険サービスを使えません。そのため入居者２名が、介護保険を使わず自費で運動目的のデイサービスを利用されています。　③













■施設内外の点検・提言

荒井監事：施設内外を見学していただきました。配布しました評価表（ ①建物、施設内、周辺　②職員の態度、接遇　③ご利用者へのサービス　 ④地域交流）のチェック項目を照合し、気づいた点を指摘してください。

名越委員：**ポータブル発電機**が設置されていましたが、どのような基準ですか。

上田主任：ポータブル発電機は、法令上の設置台数の基準はなく、施設で判断することになっています。以前は２階に１台のみだったが、３階に追加で小型の物を購入した経緯あります。発電機は約２ヶ月に１回起動確認を行っています。照明・コンセントのほか、痰の吸引器の電源確保にも使います。

名越委員：エレベーター近くに置いてありましたが、痰の吸引に使用するなら居室の近くがいいのではないですか。

上田主任：下にキャスターが付いており、容易に移動できます。

田平委員：**避難訓練**をされていると思いますが、どのような現況ですか。

安達施設長：消防法により火災避難訓練は年２回が義務化されています。自然災害対応訓練と感染症対応訓練も昨年度から義務化され、それぞれ年２回実施しています。

田平委員：避難場所は、どこを指定されていますか。

安達施設長：避難先は、加茂中学校が指定されています。

福谷委員：４階建ての建物であり、アザレアコートのほうが安全だと思います。

安達施設長：米子市と災害時の受け入れ協定を結んでおり、アザレアコートも避難所として指定されています。

田平委員：デイサービスセンターは１階にあり、すぐに外に出られると思いますが、廊下に物が多く置いてあるので避難には支障があります。片付けたほうがいいと感じました。

名越委員：居室の表札が「入居中」のシールになっている部屋がありました。**名前を表示**しないのはなぜですか。

本池係長：入居時に表札の希望（フルネーム、名字のみ、作成しない）を確認しており、名前を出したくない方が約２名おられます。訪問者を避けたい、体調や気持ちの面で来客対応が難しいなどの事情が考えられます。また、空室と区別するため「入居中」と表示しています。職員は名簿で内部的に把握しており、郵便受けはフルネームで表示しています。

福谷委員：一般の家庭でも表札を出さない人が増えています。個人情報保護の意識が強くなっています。国勢調査の場合でも、調査員が困っているとよく聞きます。

三島委員：外国から訪れ勤務されている人が年々増えていると思いますが、実態はどうですか。　④

安達施設長：**アザレアコートには、**外国人職員が４名（インドネシア、ベトナム）。うち３名は夜勤も担当しています。職員の休暇時の代替対応もでき、大変助かっています。日本語でのやりとりや利用者との信頼関係もできており、外国人職員を希望する利用者もいます。こうほうえんには約 60 人の外国人が勤務しています。

三島委員：外国人の職員の皆さんは、**真面目で仕事も丁寧**でとても評判がいいです。

福谷委員：遠く離れた日本で仕事を続けるということは、苦労が多いと思います。より長く日本に滞在してもらうよう**地域でも応援**したいと思っています。

安達施設長：イスラム教では、豚肉・アルコール禁止、礼拝場所の確保など宗教的な配慮が必要で、こうほうえんはそうした面での対応が信頼に繋がり、入職希望が多いと聞いています。

田平委員：ミャンマーに行ったことがありますが、宗教心が強い国民性だと実感しました。

安達施設長：日本人の新卒の確保は厳しく、介護士養成校の定員割れや閉鎖も相次いでいます。人材確保が最大の課題となっており、外国人の力に頼らざるを得ない状況もあります。

福谷委員：これからの時代を考えても、**医療や介護の仕事が最も重要**です。国は介護現場で働く人の給料や手当など処遇改善を本気で考えていただきたいと思っています。

三島委員：１階から４階まで見学しましたが、全体的に静かで落ち着いた雰囲気に包まれていました。それぞれの階に、鉢植えなどが置かれ、小さな花瓶にも可愛い花が生けてありました。入居者の生活空間であり、**過ごしやすい環境にするにはどうしたらいいのか**、心掛けていただくようお願いします。

安達施設長：本日は、多くの提言をいただきました。今後の運営に役立ててまいります。

荒井監事：次回は、**３月４日（木）１４：００～　ケアハウスよなご幸朋苑、後藤が丘包括支援センター、ケアプランセンターかわさき**を予定しています。　エリアで来年の訪問スケジュールの作成を始めてください。





